

令和7年度学校推薦型選抜「小論文」
地域創生学部地域創生学科 地域産業コース（応用情報志向枠）

【出題の意図】

本学及び地域創生学部地域創生学科地域産業コースのアドミッションポリシーに基づき、ネットワーク上でのコミュニケーションについて論じている文章を課題文とし、応用情報学を学ぶ上で必要となる、基本的な理解力、思考力、文章表現力を総合的に評価することを目的として出題した。

【採点のポイント】

【問1】

以下に挙げるポイントを中心に、課題文の要点を正しくとらえ、的確に表現しているかを評価する。

- ・対面の場合と比べ、ネットワーク上のコミュニケーションではトラブルになりやすい。その要因のひとつに、ネットワーク上では文字だけでコミュニケーションが行われることがあげられる。（例えば、以下のような内容をあげながらまとめている）
 - ✓ 文字だけのコミュニケーションの方が、お互いの面目を保とうとする意識が低くなる傾向がある。
 - ✓ 文字によるコミュニケーションでは、それぞれの主張を支える論理がより明確になるため、妥協点を見出すことが難しくなる。
 - ✓ 文字以外の情報が乏しく、相手の感情がわからない。
 - ✓ 記録に残るために、後から意見を変えることが難しくなるなど、意見を書いた人がその内容に拘束されてしまう傾向がある。

【問2】

以下の点を評価する。

- ・解答が、問題文の内容を踏まえたものとなっている。
- ・心がけるべきこととその理由について、解答者の考えを明確に述べている。
- ・根拠を示しながら解答者の考えを論理的に説明できている。

【問1】及び【問2】に共通

1. 指定した文字数に合致しているか
2. 誤字・脱字、主語・述語のねじれなど文章の乱れはないかなどの文章表現力について評価する。